

が増すにつれて多くなる傾向がみられる。このうち血色素量が 11.9 g/dl 以下の者は、それぞれ 2.2%, 1.3%, 1.2%, 2.0%, 4.9%である。

昭和47年に実施した女性の調査成績と比較してみると女性は男性に比して血色素量が低位にある者の割合はかなり高いが、50歳代では男性の方が女性をうわまわっている(図11)。

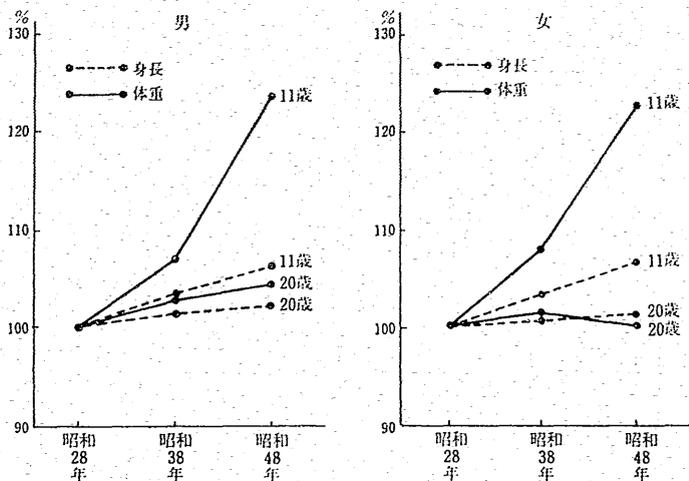
9. 身 体 発 育

(1) 青少年の体位は引続き順調な伸びをみせている。例えば発育成長期の11歳を例にとってみると男の身長では20年間に7.5cm, 10年間では, 3.8cm 伸びている。女性の身長は20年間に9.7cm, 10年間に4.5cm 伸びている。また20歳では20年間に男3.8cm, 女2.2cmの伸びがみられる(表7, 図12)。

表7 身長・体重の発育状況(11歳, 20歳)

年 度	11 歳				20 歳			
	男		女		男		女	
	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
昭 和 28 年	133.0	29.4	134.0	30.0	162.1	54.7	151.4	49.4
38 年	136.7	31.4	139.2	32.4	164.4	56.1	152.9	50.1
48 年	140.5	36.1	143.7	36.8	165.9	56.8	153.9	49.5

図12 身長・体重の発育状況(昭和28年=100)



(2) 発育盛りの年齢層では、ここ10年間に約1年の発育の促進がみられる。例えば、48年の15歳の男子身長(163.2cm)と10年前の年の16歳の身長(163.9cm)がほぼ同じ値となっている。とくに女子の13~16歳の身長ではいずれも1年以上の発育の促進がみられる(表8)。

表8 身長 の 発 育 状 況 (10~17歳)

単位 : cm

年 齢	男			女		
	28 年	38 年	48 年	28 年	38 年	48 年
10歳	128.5	131.5	136.3	128.5	132.5	137.2
11	133.0	136.7	140.5	134.0	139.2	143.7
12	137.4	142.3	146.6	139.0	144.9	148.4
13	143.1	150.1	155.0	143.5	148.8	152.5
14	149.8	156.3	160.0	147.1	151.0	154.4
15	155.8	161.1	163.2	149.7	152.8	153.8
16	158.4	163.9	166.4	150.4	153.7	154.8
17	160.1	164.2	167.7	151.7	153.4	156.0

<参 考>

昭和 47 年 度 沖 縄 県 調 査 成 績

昭和45年国勢調査区より20地区を無作為抽出し、地区内の世帯及び世帯員を調査の客体とした(827世帯, 3,594人) 調査成績を掲げる。

(1) 沖縄県の栄養摂取状況

栄養摂取量について全国(沖縄を除く)と沖縄県を比較してみると、動物性脂肪の摂取量は沖縄県が高いが、他のすべての栄養素は全国平均を下まわっている(表9)。

表9 全国と沖縄県の栄養摂取量の比較

1人1日当たり

		全 国 (沖縄県を除く)	沖 縄 県	沖縄県/全国 ×100
熱	量 Cal	2,279	1,896	83.2
たん白質	総 量 g	82.9	70.8	85.4
	動物性 g	40.4	38.7	95.8
	植物性 g	42.2	31.9	75.6
脂肪 g	総 量	50.1	54.4	108.6
	動物性	27.0	32.3	119.6
	植物性	22.9	22.1	96.5
炭 水 化 物	g	359	269	74.9
カ ル シ ウ ム	mg	549	430	78.3
鉄	mg	13.9	10.5	75.5
ビ タ ミ ン	A IU	2,067	2,007	97.1
	B ₁ mg	1.19	0.99	83.2
	B ₂ mg	0.98	0.77	78.6
	C mg	115	91	92.9
穀 類 カ ロ リ ー 比		51.7%	50.4%	
動 物 性 た ん 白 質 比		48.7%	54.7%	